



みんなのQ&A

太陽光について川崎市に寄せられるよくある質問とその回答を紹介します。



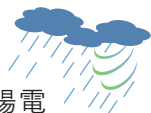
Q. CO₂削減効果は？

A. 4kWの太陽光パネルを設置した場合、1年間で約2,000kg-CO₂削減が可能です。



Q. 台風で壊れない？

A. 屋根などへの取付強度や太陽電池のガラス面は、専門的な規格・基準を満たしており、強風やひょうといった天候に耐えるよう設計されています。



Q. きちんと廃棄できるの？

A. 太陽光発電に限らず、建築物の廃棄などについては、建設リサイクル法に則って適正に廃棄できます。また、太陽光パネルは100%のリサイクルが可能で、市内にもそのリサイクル施設があります。



Q. 寿命はどれくらい？

A. 太陽光パネルは25年以上使えるとされています。太陽光発電の電気を家庭で使えるよう変換するパワーコンディショナーは10～15年で交換が必要とされています。



Q. メンテナンスは必要？

A. メンテナンスを頻繁に行う必要はありません。日常的に発電量をチェックすることで不具合などを早期に発見できます。一般的に設置後4年に一度の定期点検が推奨されています。



その他の
質問と回答
はこちら



Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

川崎市環境局が解説!!

環境にやさしい暮らし方って

家計にも

やさしいってホント？

～太陽光発電設備設置のすすめ～

太陽光発電設備に関する

新制度が始まります。

川崎市では2024年度から、建築士に対し、新築住宅の建築主に太陽光発電設備の説明を義務付ける制度が始まりました。また、2025年4月からは、一部ハウスメーカーなどの事業者にも太陽光発電設備の設置を義務化する制度がスタートします。

これらの制度により、多くの市民の方が太陽光発電によって得られる効果を知る機会や、太陽光発電のある建物を選ぶ機会を生み出します。



詳しくはこちら

もっと
太陽光を知りたい方へ

「かわさき太陽光広場」
で情報発信中！

太陽光発電に関するコンテンツを集めたポータルサイトをオープンしています。ぜひご覧ください。



悪質な訪問販売に注意してね

※上記制度は、新たに住宅を建てる方・購入する方や、住宅を現在お持ちの方に太陽光発電の設置を義務付けるものではありません。



注意事項

1. 本パンフレットに記載されている内容は、主に10kW未満の住宅用太陽光発電システムを対象とし、2024年2月時点で確認されている情報に基づいています。各種データはあくまでも一般的なものであり、詳細については各メーカーや専門業者にお問い合わせください。
2. 太陽光発電システムに関しては、信頼できるメーカーや専門業者に相談することをおすすめします。

電気料金、高くなったと感じていませんか？

太陽光発電なら環境にも家計にもやさしくなります。

地球温暖化対策として、発電時にCO₂を出さない太陽光は世界中で注目され、太陽光発電設備を設置する住宅が、市内でも増えています。環境にも家計にもやさしい太陽光の魅力をご紹介します。



動画でも情報を発信中！
◀リーフレットの解説動画はこちら

太陽光発電 設置する？しない？

同じ家族構成・同じ電力消費量の家庭で比べてみました！



1カ月の電気料金は？



しない

約13,000円



する

太陽光4kWを設置

実質約4,500円

※FIT期間中

約 $\frac{1}{3}$ に！

解説

川崎市環境局
職員



太陽光発電で創った電気を使えば、電気の購入を減らすことができます。さらに、使わない電気は電力会社に売って収入を得ることもできるため、電気料金の負担を大きく減らすことができます。太陽光発電は環境にも家計にもやさしい設備です。



サンプル
東京電力ホールディングス株式会社が運営する太陽光発電導入支援サイト

導入後の収支をシミュレーションしてみよう！



30年間で支払うお金とCO₂排出量は？

支払うお金

しない

電気料金 4,612,000円

する

電気料金 2,045,000円

初期費用など 1,467,000円

約110万円の差

(太陽光4kW)

※メンテナンスを4年に1回事業者に依頼する場合は別途費用がかかります

CO₂排出量

しない

77,000kg-CO₂

する

17,000kg-CO₂

約60,000kg-CO₂の差

(太陽光4kW)

解説

川崎市環境局
職員



太陽光発電は10年程度で初期費用を回収でき、30年間使えば、お金の面で大きな差となります。さらに、太陽光は発電時にCO₂を排出しないので太陽光が無い家庭と比べるとCO₂排出量も大きく減らすことができます。



詳しくはこちら

初期費用0円で 太陽光発電設備が使える！？

『CO₂排出量を減らしたいけど初期費用が気になる』というあなたに、初期費用0円で太陽光発電を設置できるリースのような手法があります。また、新築なら住宅ローンの一部に加えることも可能です。なお、条件によって工事費用が発生する場合があるので、業者にご確認ください。



詳しくはこちら

創エネ×省エネ ZEH住宅で快適な暮らし

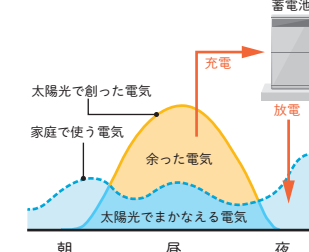
太陽光で創ったエネルギーと、断熱性の高いZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)住宅による省エネ効果を組み合わせることで、電気料金をさらに削減でき、快適で環境にやさしいカーボンフリーな暮らしを実現できます。



詳しくはこちら

蓄電池で夜間や災害時も電気を使おう！

太陽光発電設備は電気を貯めることができませんが、蓄電池があれば電気を貯めることができます。日中に余った電気を、夜間や停電時に使うことができるため、より安心な暮らしを実現できます。



設置した人に

話を聞いてみました！



「きっかけは、災害対策。
電気料金も安くて助かります」

市内在住 吉澤さんのケース



Q：太陽光を導入した理由は？

A：災害対策です。

太陽光発電は、ちょうど新築のタイミングだった2022年に設置しました。太陽が出ていれば発電でき、停電時に非常用電源として使えるのが導入の決め手です。

Q：工夫した点は？

A：蓄電池も一緒に入れました。

非常用電源としての効果を最大限発揮できるように蓄電池もセットで入れました。ある夜、周囲が停電した際、テレビや冷蔵庫等の電源が止まることがなく、安心したのを覚えています。

Q：導入後に実感したことは？

A：電気料金が安くなりました。

最近は電気料金が高くなったといわれていますが、うちはそこまで大きな影響を受けていません。設置しておいて、本当に良かったと思っています。

インタビューのつづきは
こちら

設置までの流れや太陽光に
関する詳しい情報はこちら

